

## 評価細目の第三者評価結果 (障害者・児福祉サービス版)

**A-1 利用者の尊重と権利擁護****A-1-(1) 自己決定の尊重**

	第三者評価結果
<b>A①</b> A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：            利用児のエンパワメントを高める観点から、本人の意思を尊重しながら支援を行っている。生活に関わるルールについては、自治会(麦の会)や夜の会で話し合っている。またそこでは、好きな時間に参加し、やりたい事、やってみたい事、好きな事を話し合う等している。コミュニケーションが困難な利用児とは、絵や写真、身振りや手振り等のノンバーバルコミュニケーションを活用し、表情や行動の背景から思いを汲み取るとともに、家族からの聞き取りを丁寧に行い、意思を確認する等して、支援にあたっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

**A-1-(2) 権利侵害の防止等**

	第三者評価結果
<b>A②</b> A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	(a)・c
<p>良い点/工夫されている点：            利用児への人権擁護の意識を強く持ち、虐待防止に関するマニュアルに基づいて支援にあたっている。朝礼で権利侵害の防止に係るルールについて読み合わせをしたり、支援会議でケース検討を行ったりしている。日頃の支援の中で、利用者への虐待防止のために毎月、職員自身のセルフチェックや他者チェックを実施し、虐待防止委員会で内容を検討し、早期に対応する仕組みがある。</p>	
改善できる点/改善方法：	

**A-2 生活支援****A-2-(1) 支援の基本**

	第三者評価結果
<b>A③</b> A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点/工夫されている点：            利用児の状況を評価するために新版K式発達検査も活用し、詳細なアセスメントを実施して個別支援計画を立てている。支援方法については、職員間で話し合い、利用児の自主性を尊重し、できたことは褒める等して、自立意欲が高まる支援を行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
<b>A④</b> A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	(a)・b・c

<p>良い点／工夫されている点：          利用児一人ひとりのコミュニケーション方法の把握に努めており、必要な場合には、トーキングエイドや文字盤等のコミュニケーション機器を使用している。また、意思表示や伝達が困難な利用児については、ジェスチャー、絵や写真を活用したり、家族からの聞き取りをする等して利用児の意思を把握している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          利用児の相談については、いつでも気軽に話せる環境づくりに努めており、職員は受容的な態度で利用児の思いを傾聴するとともに、意向・要望を記録に残し、職員間で情報共有している。相談内容は随時、サービス管理責任者と関係職員による会議を行い、保護者の意見も踏まえ、個別支援計画の策定に反映させている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          日中は、学校生活が主であるが、園での生活は、個別支援計画に基づき、日中活動を行っている。コロナ禍の影響で休校になった際は、グラウンドや体育館で遊んだり、ボールや段ボールで遊ぶなど楽しく過ごせるよう環境を整えたとの事である。例年は、機能訓練や生活訓練を取り入れたグラウンド遊び、ドライブ、シャボン玉、散歩等の活動を行い、余暇やレクリエーションについては、利用者の意向を把握しながら計画の中に取り入れ、支援を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          常時介護と医療的ケアが必要な利用児、パニックや不安定な行動、強いこだわりを持つ利用児など様々な障がい特性を持つ利用児について、スーパーバイズやアドバイスを受けながら、障がい特性に応じた適切な支援を行うことができるよう、職員間で情報を共有し、支援している。また、精神障がいや強度行動障がいについてのケース検討や、専門病院の医師や大学教授等の有識者を講師に研修を行う等、支援の質の向上を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## A-2-(2) 日常的な生活支援

		<p>第三者評価結果</p>
<p>A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>		<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          個別支援計画を全職員が共有できるよう、計画に一覧性を高め、共通理解を深めて支援している。食事は利用児の状況に合わせた食事形態で提供しており、献立は食事検討会議で利用児の意見を反映</p>		

<p>させている。例えば、行事食や選択食、リクエストメニュー等も実施しており、食事が利用児の楽しみなものとなっている。入浴については週3回実施し、利用児の身体状況に合わせて支援している。排せつについては、できる限りトイレを使用できるように利用児の排泄リズムに合わせて、プライバシーにも配慮しながら支援している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

### A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
<p>A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          利用児が安全に生活できるよう、建物内は清掃が行き届き、整理されている。毎日、建物内外の破損個所等の点検が行われ、破損個所や危険個所が見つければ、早期に修繕する等対応し、安全に留意している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
<p>A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          日常的に生活リハビリを実施し、利用児が主体的にリハビリに取り組めるよう支援している。月1回、理学療法士が来園し、訓練についての助言や指導方法など相談できる機会を設けている。また、専門病院に受診している利用児については、園での機能訓練や生活訓練についての指導を受け、支援につなげている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
<p>A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：          利用児については、毎朝夕、検温と排せつチェックを行う等、健康管理の把握に努めている。また、健康マニュアルを整備し、利用児の体調変化への対応や看護師への連携について職員間で共有している。看護師を配置し、24時間の連絡体制ができており、異常があれば連携して、医療的処置が迅速にできる体制が整備されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>

<p>良い点／工夫されている点：  協力病院や受け入れ病院等の医療連携体制が整備され、看護師と医師との連携も密に行われている。また、医療的ケアについては、医師の指示を受けて、看護師による指導の下、支援員が行っている。服薬については、服薬マニュアルに基づき、看護師が管理を行い、複数人でチェック後に服薬を行っている。慢性疾患やアレルギー疾患等の利用児への対応についても看護師の指導に基づき、支援にあたっている。さらに、看護師が講師となり、医療的支援に関する職員研修を実施している。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

#### A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
<p>A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：  今年度は、コロナ禍の影響で制限されている状況であるが、例年は、軽スポーツ大会や障がい者のスポーツ大会へ参加したり、地域の文化祭に作品を出品したり、見学に出かけたりする等して、地域の方々と交流を行っている。また、スーパーや薬局へ数人に分かれて買い物に出かけ、好みのものを購入する等の機会を提供している。学習については、学校から帰宅後、職員の支援を受けながら宿題等を行っているが、例年は学習ボランティアの支援も受け入れている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
<p>A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：  児童福祉施設のため、馴染みにくい項目であるが、地域生活への移行については、社会生活力・適応力の備わっている利用児について、特別支援学校の高等部の入学時より、利用児と職員間で話し合いながら計画的に生活の自立に向けた支援を行っている。例えば、法人内のグループホームについて見学する等、情報提供に努めるとともに、他施設と交流する等して社会性を学べるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
<p>A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：  現在、コロナ禍の状況にあり、面会制限中のため、学園だよりなどに利用児の写真を添えた近況報告を郵送している。家族からの相談には、丁寧に対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### A-3 発達支援

#### A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
A⑩ A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	Ⓐ b・c
<p>良い点／工夫されている点：            新版K式検査により発達段階を確認し、子どもの発達過程や心身状態に合った支援内容を検討し、対応している。児童発達管理責任者を中心に、看護師、支援員、リーダー等、様々な業種の職員でモニタリングを行い、アセスメントをして、個別支援計画を立て、見直しをしながら対応している。障がい特性や発達年齢に即した支援等について随時、職員研修を実施し、支援の質の向上を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### A-4 就労支援

#### A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑪ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：            障がい児施設のため評価外項目。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑫ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：            障がい児施設のため評価外項目。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
A⑬ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：            障がい児施設のため評価外項目。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### A-5 県独自項目

#### A-5-(1) 職員の援助技術の向上

	第三者評価結果
--	---------

A② A-5-(1)-① 職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいる。	a) b・c
<p>良い点／工夫されている点：          法人において、職員のスキルの段階に合わせた計画的な研修制度があり、研修計画も初任者、中堅、主任、リーダー、次長、園長等、段階に合わせて計画され、参加する仕組みがある。また、外部講師を招いて、援助技術を学ぶことで職員のスキル向上を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### A-5-(2) IT技術や知識の修得

	第三者評価結果
A② A-5-(2)-① 利用者の社会生活に必要となるIT技術（パソコン、インターネット、メールの利用等）や知識の修得に向けた支援をしている。	a) b・c
<p>良い点／工夫されている点：          職員がパソコンを使えるように準備することで、部分的に使える利用児や関心を持っている利用児が増えてきており、余暇に使用するように環境を整備している。職員もIT技術についての研修に参加し、利用者が興味を持てるように働きかけを工夫する等した支援を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	